



治療院に行ってきました

校長 池田 忠徳

本校には、あんまマッサージ指圧師の国家試験の受験資格が得られる高等部保健医療科と、それに加えはり師・灸師（あんまマッサージ指圧師・はり師・灸師をまとめて『あはき師』というそうです。）の受験資格が得られる専攻科医療科があり、本校を卒業していった方々が県内外であはき師として活躍されています。

先日、本校の卒業生が治療院を開業されたとうかがいました。最近、どうも腰の調子がおかしく、以前から肩と背中がこっていたので、その治療院で診てもらうことにしました。

自宅を改装した治療院は、奥様が受付でアットホームな雰囲気。問診・触診の後、マッサージをしてもらい、生まれて初めてはりを打ってもらいました。少くく痛くても効果があるならという気持ちでしたが、実際はほとんど痛みがなく、はりを刺された（打たれた）ことすらわからないこともありました。結果は、肩こりが劇的に軽減され、ちょっとした驚きでした。

ちなみに、この卒業生の方は、60歳を過ぎて視覚障害者となり、69歳で本校に入学、72歳で卒業し、75歳で開業されています。これまでに様々な形でいろいろな方々にお世話になってきた。その恩返しがしたいという思いでこの道を目指されたとのこと。施術中の何気ない話にも説得力があり、勉強になりました。奥様も朗らかで、幸せそうにしておられるお二人からたくさん元気いただきました。

《見やすく使いやすい文房具》

視覚障害や見えにくさがあると、日常生活や学習で困難な面が出てきます。しかし、最近は見えにくさがある児童生徒が使いやすい文房具も増えてきて、街中のお店でも普通に購入できるものもあります。今回はそういう文房具を紹介したいと思います。



【黒い消しゴム】

消しているところがわかりやすい



【色がついたのり】

塗った場所がわかりやすい



【黒白反転定規】

目盛りや文字が見やすい



【濃い鉛筆】

4Bや6Bに加え、10Bもあります

幼小小学部

【神野小学校との学校間交流 7月6日】

神野小学校との交流は、平成元年から始まり、30年以上の歴史があります。昨年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、1回しかできませんでしたが、今年度は通常通り年3回できそうです。各クラスで、学級活動、国語、生活単元学習の授業を行いました。普段、先生と児童、1対1の授業がほとんどですが、多数の友達と触れ合い、意見を聞くことができ、貴重な体験になりました。



中学部

【城北中学校へビデオレター持参★】

毎年、城北中学校の生徒会のみなさんを盲学校に招いて交流を行っていますが、1学期は密を避けるためにビデオレターを持参しました。昨年度よりもバージョンアップして、盲学校ならではの点字ブロックやパーキンスなどについて、2年生中心にわかりやすく紹介しました。3人で城北中を訪問し、短時間ですが顔合わせをすることもできました。体育祭にはぜひ来ていただいて一緒に盛り上がりたいと思います！



アルミ缶も
持っていき
ました！



高等部

【暴力団排除教室】

6月4日、普通科と保健医療科の生徒が参加した暴排教室では、現場経験のある警察官から直接お話を伺うことができました。とくに成人年齢の生徒が熱心に耳を傾けていたのが印象的



警棒の使い方。痛そ～！

でした。県警のご厚意で体験的な学習もさせていただき、有意義な研修会となりました。



防刃ジャケットの試着。
お、重い…。

舎

今年で52回を迎える舎祭を6月10日に行いました。

実行委員を中心として、舎生が一人一役で関わり、自分たちの舎祭という意識をもって活動していました。

コロナウイルス感染対策で短い時間にはなりましたが、ゲームでは笑いが起き、盛り上がりを見せました。

「舎祭大成功！」の声も聞かれ、楽しい時間を共有することができました。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952-23-4672